

広報

第948号

いながわ

8

月

平成30年



オシャレな太鼓を元気にドンドンっ!! (環境交流館)

特集

いながわ野菜の魅力

～猪名川の恵みをうけて～

あなたの備えは大丈夫? ☐ 10

猪名川町の実は…え!?ホンマ!?
予防救急講習受けてみませんか? ☐ 19

いながわの星空 やぎ座 ☐ 25

瞬(ときめき) 新開 隆人さん ☐ 26

私のオススメ★
龍化溪谷のユクノキの花 ☐ 27

特派員報告
いながわ100万歩チャレンジ! ☐ 28



夏の暑さに負けず咲くひまわり(柏梨田)



いながわ野菜の魅力

「猪名川の恵みをうけて」

猪名川町を縦断する清流「猪名川」
 町の農業は、猪名川の豊富な「水」を使い
 古くから受け継がれてきました
 夜から朝方にかけて冷え込み
 日中は日差しが届き暖かい
 この気候がもたらす「寒暖差」が
 野菜のおいしさや鮮やかさを引き出します
 猪名川町の豊かな「自然」に育まれ
 農家の「心」がこもった新鮮でおいしい野菜
 それが「いながわ野菜」です



山間^{やまの}で、まとまった広大な農地が少ない猪名川町。限られた土地を有効に使い、四季を通じて栽培される多品目のいながわ野菜。今では、その魅力や生産・販売に関わる人たちの声を紹介します。

猪名川町の農業

本町域の約9千ヘクタールのうち、農業耕地面積は約432ヘクタール。南部の一部でニュータウン開発が進んだ一方、農村地域も多く残っています。
 春にはいちご・キャベツ、夏にはトマト・きゅうり・なす、秋にはしいたけ・栗・枝豆・ぶどう、冬には白菜・大根など、四季折々の野菜や果物が作られています。

担い手不足という現実

昨今、日本の農業が抱える課題として、担い手不足や農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加などのほか、生産量の減少や安価な外国産農産物などの消費拡大による食料自給率の低下などがあげられます。

これらは本町でも例外ではなく、2000年の農林業センサスでは、町の販売農家数（※）は約570戸でしたが、現在は約380戸まで大幅に減少しており、特に農家の高齢化や担い手不足は深刻です。
 ※販売農家数Ⅱ経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家

まちの農業を支える人たち

そのような中、心をこめて、おいしい野菜を作り、出荷を続けている人がたくさんいます。

農業の担い手として、町の認定を受け、積極的に経営規模や販路を拡大している認定農業者、小規模でも、おいしい野菜づくりにとことんこだわる人など、スタイルは様々ですが、それぞれが農業に力を注ぎ、本町の農業を支えています。

新たな担い手「新規就農」

近年、「農業を始める」ということが一つの就職先や起業として増えてきています。町内でも、「新規就農」した人たちの一生懸命な姿がみられます。

一言で「新規就農」といっても、色々な形があります。サラリーマンを辞めて農業に挑戦する人や、定年を迎え第2の人生として農業を始める人。これまでの経験を農業経営に取り入れ、新たなチャレンジに意欲的です。

新しく農業を始める場合、町内農家などで研修を受け、技術を磨きます。あわせて地元農家との交流も広げ、様々なアドバイスを受けながら野菜作りに精を出し、道の駅いながわなどへ出荷しています。

受賞者の皆さん、おめでとうございます！

受賞された農家の声



中村 賢司さん
(45歳・梶並)

中村 家業の農業を継ぎ、今年で12年になります。夏場はきゅうりのほかに5品目ほどの野菜を作っていますが、先般の大雨では私の畑にも被害があり、一部の作物は商品として出荷ができない状態になってしまいました。

そんな中での品評会で、できるだけ色々な人たちに自分のいい野菜を見てもらいたくて頑張りました。普段から、道の駅や町内スーパーに出荷している野菜は、鮮度はもちろん味にも自信があります。見つけたらぜひ一度買ってみたいと思いますね。

私は自分で作ったきゅうりを、にんにく醤油に漬けて食べたり、丸かじりしたりして食べています。ぜひお試しください！



兵庫県知事賞



中野 耕太郎さん
(49歳・原)

中野 猪名川町で新規就農して5年目になります。もともと岡山でぶどう農家をしていた経験から、猪名川町でも農地を借りて農業を始めました。ぶどうをメインに、季節ごとの野菜作りにも取り組んでいます。

農業をされていて嬉しい瞬間は、人から認めてもらったり、食べてもらった人からおいしいと言ってもらえること。今回、品評会で認めてもらえ、賞をいただけたことは率直に嬉しいです。

なすは味噌との相性が抜群なので、豚肉やピーマン、玉ねぎなどと絡めて味噌炒めにしたたり、夏野菜カレーなんかでもいいですね。是非いながわ野菜の素材の味を楽しんでください！



切通 私はとにかくお花が好きで、見ることはもちろん、育てることも大好きなんです。家では野菜やお米も作っていますが、野菜作りは主人任せで、私はもっぱらお花作りをしていますね。

今回賞をいただいた「トルコギキョウ」は、トルコ人のターバンに似ていることがその名の由来といわれています。様々な色があって鮮やかで、私の大好きな花の1つです。



お盆のお墓参りなどにもお持ちいただけたらと思います。

これからも、もっともっときれいなお花を作って、皆さんに喜んでいただきたいと思いますね。



切通 笑子さん
(73歳・原)



夏季農林産物品評会

農林産物品評会は、農家の人たちの技術・知識および資質の向上、消費者の皆さんに町内産の新鮮な野菜をPRすることを目的に、毎年7月と11月に開催しています。

7月14日(土)には、道の駅いながわにて、猪名川町夏季農林産物品評会を開催。当日の様子や受賞者の紹介と農作物への想いをお伝えします。

出品数は近年最多に！

今回の品評会も、夏の日差しに負けない、キラキラ輝く、色鮮やかな野菜たちが出品されました。夏野菜の定番であるトマト、なす、きゅうりをはじめ、キャベツなどの葉物野菜、玉ねぎやじゃがいもなどの根菜類や花きなど、37品目、近年最多の147点が並ぶ盛況な品評会となりました。

農家の皆さんが丹精込めて育てた品々を厳正に審査した結果、以下のとおり受賞者が決定しました。

兵庫県知事賞

中村 賢司さん(きゅうり)

猪名川町長賞

乾 光夫さん(とうもろこし)

兵庫六甲農業協同組合長賞

中野 耕太郎さん(なす)

道の駅いながわ駅長賞

切通 笑子さん(トルコギキョウ)

地域農業推進協議会長賞(5名)

上 殿 光子さん(じゃがいも)

大 嶋 重徳さん(ピーマン)

田 中 義時さん(トマト)

仲 守 さん(しいたけ)

野木 照子さん(キャベツ)

受賞者の農作物は道の駅いながわに特選コーナーを設け、「推奨品シール」を貼付し、1カ月間販売されます。その他にも、道の駅いながわでは、毎朝新鮮でおいしい「いながわ野菜」がたくさん並びます。ぜひ一度足をお運びください。



▲推奨品シール



阪神北泉民局
阪神農業改良
普及センター
所長 古地 哲弘さん
(品評会審査委員)

農業改良普及センターでは、農家に栽培技術や経営指導を行い、担い手育成、産地育成、食の安全性の向上を進めています。

近年は異常気象などにより、農家の皆さんにとっては、農作物栽培が難しい状態が続いています。今年は特に、先般の西日本豪雨で猪名川町の農作物にも多くの被害があったと聞いています。このような予測しがたい気象条件の中、品評会に多くの出品をいただき、深く感謝しています。

出品された農産物は、色つや、形状、揃いなどの外観や消費者からの目線など、多方面から厳正な審査を行いました。皆さん力作揃いで、どの作物も甲乙つけがたく、難しい審査でした。

これまでに培った技術を発揮した作品は、賞に値するものだったと感心しています。

これから益々ご研鑽の上、猪名川町の農産物ここにあり、と消費者の皆さんにPRしていただきたいと思っています。



地域農業推進協議会
会長 南 隆史さん

地域農業推進協議会は、私たち農家の作物をより多くの人たちに知ってもらい、町の農業振興を進めるために、年2回の農林産物品評会の開催を主な活動としています。

今年度の夏季農林産物品評会は、開催の1週間前の西日本豪雨で町内でも多数の農地が浸水するなど被害を受け、開催が危ぶまれました。農業は少なからず天候の影響を受けやすいものですが、今回のような想定を上回る大雨では被害を完全に防ぐことはできません。しかし、農家の皆さんの努力により無事開催することができ、昨年度の出品数を上回る出品があったという結果には大変驚きました。町の農業、農家の底力を強く感じましたね。

ぜひ道の駅いながわでも私たちの野菜を手にとって見ていただければと思います。



大雨で浸水した農地



町内産農産物 販売者の声

▼問合せ (☎765・1111)

イオン猪名川店では、地産地消を推進する取り組みとして町内産野菜をコーナー化して販売しています。火曜と金曜は売り場を拡大。特に火曜は出荷農家の人自らがブルーのハッピを着て、店頭でお客様に町内産野菜の魅力をお伝えしています。お客様からも、新鮮でおいしいなどと好評を得ており、いながわ野菜を目当てに来店いただくお客様や、リピーターも多くいらっしゃいます。

イオン猪名川店

農産主任 赤木 薫さん

▼問合せ (☎766・1931)

日生中央サピエの西側出入口から入ってすぐの一番目立つ場所に、猪名川町の地場産野菜を「おひさん市」コーナーで販売しています。毎朝、町内の農家の皆さんが自信を持って育てた野菜や果物が出荷されてくるので、とても新鮮で品質のいいものが揃っています。お客様からも好評の当店看板コーナーです！

阪急オアシス

日生中央店

農産部門長 角井 宏太さん

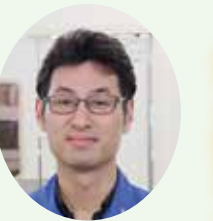


道の駅 いながわ

道の駅いながわは、町の農産物の販売拠点として平成12年にオープンしました。農産物販売センターでは、町の農産物の販売を通して、いながわ野菜の魅力を町内外へ発信しており、オープンから現在に至るまで連日多くの来訪者で賑わっています。

▼問合せ (☎767・8600)

野菜のこと、何でも聞いてください！



道の駅いながわ
農産物販売センター
主任 橋本 剛志さん
(野菜ソムリエ)

猪名川町の農家は、少量多品目で栽培されている人が多いので、いろいろな野菜や果物が出荷されます。新しい品種や、変わった品種などにもチャレンジし、いろいろなものを出品してもらっており、お客様から好評を得ています。

私自身は、道の駅いながわで働き始めて12年目になります。売り場で品出しなどをしていると、お客様から野菜の調理方法から栽培方法に至るまで、野菜について



色々なことを尋ねられます。初めのうちは、野菜のことが何もわからなかったのですが、出荷に来る農家の人に教えてもらったり、自分で調べて勉強しました。もっとお客様に野菜のことをお伝えしたいと思い、今年の3月に野菜ソムリエの資格を取得しました。おいしい野菜の見分け方や、作物ごとの旬など、お客様にお伝えし、喜んでもらえることが増えたことがとても嬉しいです。

これからも道の駅いながわから『いながわ野菜』の魅力を発信していきたいですね。

道の駅いながわや町内のスーパーで販売されている町内産農産物は、収穫から出荷までの期間が短いため、とても新鮮です。新鮮な野菜は、日数の経過した野菜に比べて味がよく、栄養価が高い場合が多いといわれています。

地域で生産された農産物を地域で消費することを「地産地消」といいます。地産地消を進めることは、消費者の皆さんが新鮮な野菜を食べられるということだけではなく、地域の農業が活性化され、担い手不足の解消や耕作放棄地の増加を抑えることにもつながり、町の農家や農業が元気になる、という意味があります。

町では、新鮮でおいしい「いながわ野菜」を、まちの未来を担う子どもたちに知ってもらうために、農家やJAの協力のもと、学校給食で使用しています。1学期は朝採りとうもろこし、秋にはぶどうが予定されています。

ぜひ、猪名川町の「農家の皆さん」と「いながわ野菜」の応援をよろしくお願いします。

▼問合せ 産業観光課 (☎766・8709)



地域振興部
橋本 佳之 部長

JAでは、地域の農家所得拡大や地産地消運動の活性化などを目指し、町の農家が道の駅いながわなどへ出荷する際の窓口として、農産物の品質や農薬検査、品目や数量、価格などを管理・調整をしています。また、各販売先での売り上げ実績から、例年出荷の切れ目となる時期に生産しやすい作物の提案や営農のアドバイス、作付の技術研修などを行い、農家の皆さんをサポートしています。

町内の消費者の皆さんに、いながわ野菜の魅力を伝え、もっと食べてもらえるようにしていきたいですね。



JA兵庫六甲
猪名川営農支援センター
営農相談員
中上 和磨 さん



いながわ 100万歩チャレンジ！

1日平均 10,000 歩 × 100 日間 = 100 万歩達成！
1日平均 5,000 歩 × 100 日間 = 50 万歩達成！

今年は
100 万歩コースと
50 万歩コースを設定！
運動が苦手な人にも
チャレンジしやすくな
ったよ！
詳しくは、特派員報告
(P28) を見てね！



100日間ウォーキングに
チャレンジし、町のみんな
と一緒に「100万歩」を目
指しませんか？
100日間の目標歩数を設
定。各自でウォーキングや日
常生活歩数をカウントし積算
していくだけ！
100日後には、運動習慣
と目標達成を得るという一挙
両得イベントです！
▽期間 9月16日(日)～12月
24日(月・祝)の100日間
▽対象 町内在住・在勤の18
歳以上の人
▽定員 先着300人
▽コース設定 ①100万歩
コース(1日1万歩目安)②
50万歩コース(1日5千歩目安)
▽達成賞 今年度は目標達成
された参加者に更なる運動習
慣獲得をめざし、町スポーツ
センターのトレーニンググル
ム利用券2回分を呈呈
▽申込・問合せ 1～15日に
全戸配布のチラシの申込書に
必要事項を記入し町内各施設
に持参、もしくは保健セン
ターまで郵送、FAXまたは
電子申請(詳細は全戸配布の
チラシをご覧ください)同セ
ンター(☎766・1000、
F766・4414)

平成31年度採用の 町職員を募集

求む！夢と熱意ある町職員！

やる気・創造力・責任感のある優秀な職員
を幅広く募集するため、総合能力試験 (SPI3)
を実施します。公務員試験対策はいりませ
ん。

▷受付期間 8月1日(水)～20日(月)
午前8時45分～午後5時30分(土・日・
祝日は除く)※郵送(特定記録・簡易書留)
は20日(月)午後5時30分必着

▷受付場所 総務課

▷一次試験日 ①全職種＝総合能力試験 (SPI3)
9月1日(土)～11日(火)の希望する日・会場、
面接試験 9月28日(金)文化体育館

②技術職(建築)＝①に加えて、専門試験・
小論文があります。

※募集要項・申込書などは総務課、日生住民
センター、ふらっと六瀬(六瀬総合センター)
で配布または町ホームページでダウンロード
可(インターネットでの申し込みは不可)
※地方公務員法第16条の欠格事項に該当する
人は受験不可

※採用時には通勤可能な地域に居住のこと

※受験者が平成31年3月31日までにその属
する学校を卒業できない場合は採用不可

▷問合せ 同課(☎766-8708)

職種・人数		受験資格(すべてあてはまる人)
事務職	高校・短大 等卒 若干人	◆平成7年4月2日以降に出生した人 ◆高等学校、高等専門学校、専修学校の専門 課程、短期大学を卒業、または平成31年3月31日までに卒業見込みの人 ※4年制大学を卒業、卒業見込みの人、またはその在学期間が2年を超える人は不可
	障がい者 1人	◆昭和58年4月2日以降に出生した人 ◆学校教育法による4年制大学を卒業、また は平成31年3月31日までに卒業見込みの人 ◆身体障害者手帳の交付を受けている人 ◆自力で通勤でき、介護者なしに原則1日7時間45分を勤務できる人 ◆パソコンの画 面表示が解読でき、キーボードからの入力とマウス操作ができる人および活字印刷文によ る出題、口頭による面接に対応できる人※車いす、ルーペ(拡大鏡)、補聴器を用いての 受験可能(申込時に申し出てください。ただし当方で用意する机などを使用すること)
技術職 (建築) 1人		◆昭和53年(1978年)4月2日以降に出生した人 ◆学校教育法による4年制大学・ 短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程(修了年限2年以上)の学歴で、建築に関 する専門課程を修めた人、または平成31年3月31日までに卒業見込みの人

兵庫県内で自治体初導入!!

デジタル記念撮影 コーナー設置！

猪名川町に
来たよ～



の「猪名川町チームラボカメ
ラ」にアップロードすること
が出来ます。また、撮影した
写真をデータで入手すること
も出来ます。
SNSなどでも拡散できま
すので、結婚、出産、転入な
どのお祝いの記念のほか、猪
名川町を訪れた記念に、ぜひ
ご利用くださいね♪

いなぼうのフレームで
一緒に写真を撮ろう♪

Facebook ページ
「猪名川町チームラ
ボカメラ」からシェ
アしよう→



祝結婚！

INAGAWA TOWN
HYOGO

役場ロビーに新
しく記念撮影コ
ーナーを設置しまし
た。

町オリジナル
フレームで撮影
した画像は、選択
すると町デジタル
フォトフレーム専
用Facebookペー
ジ

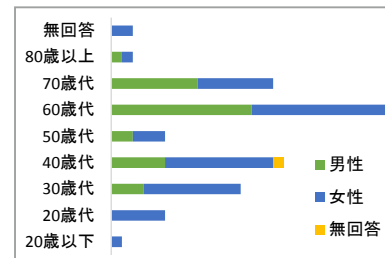
▽利用時間 町役場開庁時間
▽設置場所 町役場本庁舎1
階ロビー
▽フレーム ①「祝福用いな
ぼう」②町の観光スポッ
ト「猪名川天文台」の2種類
のフレーム
▽費用 無料
▽問合せ 住民保険課(☎7
66・8700)

「広報いながわ」アンケート ご協力ありがとうございました

みなさんが、広報いながわを読んで、どの
ように感じていただけているのか。広報いな
がわ2月号でアンケート調査を行いました。

性別・年代

女性からの回
答が多く、年代
別では子育て世
代の30～40歳
代のほか、60歳
代以上の方が大
半を占めました。



印象に残った記事(主なもの)

◆子どもを取り上げた内容 ◆新名神高速道
路・大型物流拠点など、町内で行われる開発
◆自治会って何だろう? ◆特派員報告 ◆病
児保育 ◆孫の写真 ◆消防特集 など

取り上げてほしい内容(主なもの)

◆子育てに関する事 ◆町の事業 ◆食・健康
◆アキナの情報 ◆役場の窓口紹介 ◆いなぼ
うの紹介 ◆ペットのマナー ◆行政相談で
どんなことが相談できるのか など

その他

このほかにも、厳しいご指摘や思いがけな
いアイデアなど、多くのご意見・ご感想をい
ただきました。あわせて、しっかりと読んで
いただけていることもわかり、広報の必要性
を再認識できました。今後もいただいたご意
見も参考に、より親しみやすい「広報いな
がわ」づくりを目指します。

今後ともご協力よろしくお願ひします。

▷問合せ 企画財政課秘書広報室

(☎766-8707)

GPS で居場所が
分かるから安心 !!

高齢者を見守ります ～ GPS 端末貸与サービス スタート!～



町では認知症の高齢者などが行方不明になった場合、その居場所をいち早く発見・安全を確保できるように位置情報提供端末(GPS 端末) 貸与サービスを実施します。

- ▷ **対象** 行方不明の可能性のある町内在住・在宅で 65 歳以上の高齢者の家族もしくは 40 歳以上の介護認定を受けている人の家族
- ▷ **利用料金** GPS 端末の半年ごとの利用料のうち 300 円 (税別)、その他端末装置の携行に必要な物品代など

端末の特徴

- ①利用者の用意する、パソコン・スマホ・タブレットなどからリアルタイムに居場所を検索!
- ②端末が小さいので、巾着に入れて持ち運んだり、靴 (別料金) の中にセットすることもできます!
- ③検索回数無制限! 日ごろから気軽に検索できます!
- ④事前に指定したエリアからの出入りをメールでお知らせ!

▷ **申込・問合せ** 町高齢者見守り登録および GPS 端末貸与申込書を福祉課 (☎ 766 - 8701)



「限度額適用・標準負担額減額認定証」および「限度額適用認定証」について

下表の所得区分が、「低所得ⅠまたはⅡ」の人は「限度額適用・標準負担額減額認定証」を、「現役並み所得者ⅠまたはⅡ」の人は「限度額適用認定証」を医療機関などの窓口で提示することにより、窓口での支払いは自己負担限度額までとなります。

(「低所得ⅠまたはⅡ」の人については、入院時の食事代など(標準負担額)も減額されます。)

▽ **問合せ** 住民保険課 (☎ 766・8700)

区分	一部負担金の割合	自己負担限度額 (月額)		入院時の食事代標準負担額 (1食当たり)
		個人単位 外来	世帯単位入院含む	
現役並み所得者	Ⅲ課税所得 690万円以上	3割	252,600円+(医療費－842,000円)×1% 【140,100円】※2	460円 ※3
	Ⅱ課税所得 380万円以上		167,400円+(医療費－558,000円)×1% 【93,000円】※2	
	Ⅰ課税所得 145万円以上		80,100円+(医療費－267,000円)×1% 【44,400円】※2	
一般		【国保】 2割 または 【後期】 1割	18,000円 年間上限 144,000円※1	57,600円 【44,400円】※2
低所得	Ⅱ	1割	8,000円	210円 【160円】※4
	Ⅰ			100円

- ※1 1年間 (8月～翌年7月) の外来の自己負担額の合計額に年間 144,000 円の上限が設けられます
- ※2 【 】内は過去 12 カ月以内に世帯ですでに 3 回以上の高額療養費が支給されている場合の 4 回目からの額となります。外来 (個人ごと) による高額療養費の支給は、回数に含まれません
- ※3 指定難病患者などは、一部 260 円の場合あり
- ※4 【 】内は過去 12 カ月の入院日数 (低所得Ⅱの認定を受けていた期間) が 90 日を超える場合、91 日目からの額 (申請が必要)

町国民健康保険・県後期高齢者医療制度の変更

あなたの備えは 大丈夫?

▷ **問合せ** 総務課危機管理室 (☎ 766 - 8703)

7月5日撮影 (原地区)

次々と発生する災害

6月18日に発生した大阪府北部地震。そして7月5～7日に平成30年7月豪雨(通称Ⅱ西日本豪雨)と、短期間のうちに様々な災害が私たちの生活を脅かしています。特に西日本豪雨では、町内でも河川の越流や住宅・農地への浸水、ため池の破壊など、被害が発生しました。近年、全国的に多発している自然災害は、よそ事ではありません。いざという時のための備えを今一度確認しましょう。

災害時は情報の確認を!

災害発生時は、テレビ、ラジオ、インターネットなどで正確な気象情報を確認しましょう。テレビの気象警報は各チャンネルの「dボタン」。また、避難所情報は、NHKとサンテレビの「dボタン」でみることもできます。また、いなぼうネットでは、避難勧告・避難所情報などの配信を行いますので、速やかに正確な情報を受信することが出来ます。ぜひ登録してください。



▲いなぼうネットの登録はコチラ

また、災害は昼間に起きるとは限りません。特に大雨など

の場合は、夜間の避難はとても危険です。避難所までの移動が危険な場合は、自宅の2階など高い場所へ避難することも重要です。

また、土砂災害発生前は、崖や地面にひび割れがきたり、湧水や沢の水が濁る、地鳴り・山鳴りなどの兆候が見られる場合があります。これらの異変を感じたら早めに避難しましょう。

あなたの地域は大丈夫?

防災マップや兵庫県CGハザードマップでは、お住まいの地域が浸水想定区域や土砂災害警戒区域など危険な箇所に入っているかどうか分かります。必ず確認してください。

また、土砂災害警戒区域などの危険情報は町ホームページや町建設課の窓口で確認できます。



▲土砂災害警戒区域の確認はコチラ



▲県ホームページより

ご本人の同意が必要です!

災害発生時の支援に備えて

町では、災害が起きたときに自力での避難が難しく、何らかの助けを必要とする可能性のある「避難行動要支援者」を対象に、災害発生時の救助活動や避難支援を行うため、名簿を作成しています。※対象者は別表参照

地域で情報共有を

災害発生時に自治会・自主防災組織など地域の皆さんと名簿の情報を共有することで、ス

ムーズな避難支援につなげるだけでなく、災害発生に備え、普段から地域内での見守りに役立てることもできます。

ご協力をお願いします!

名簿情報を共有するためには、ご本人の同意が必要です。

今月、対象者あてに、同意確認書類を郵送します。趣旨をご理解いただき、同意書類の返送にご協力をお願いします。

避難行動要支援者名簿に登録されている人

項目	要件
1	65歳以上のひとり暮らしの高齢者並びに75歳以上のみの居住世帯
2	身体障害者のうち、肢体不自由の上肢機能障害2級以上、下肢機能障害または体感機能障害、平衡機能障害の全等級、視覚障がい2級以上、聴覚障がい3級以上の人
3	内部障がい(身体内部の障がい)のうち、1級以上の人
4	知的障害者のうち、その障がいの程度がAの人
5	精神障害者のうち、2級以上の人
6	介護保険制度において要介護3～5の認定を受けている人
7	「災害時要援護者支援制度」登録者のうち本制度への登録に同意する人

※長期の入院または施設に入所している人は対象となりません

